

○水生生物モニタリング調査結果一覧（猪苗代湖（北岸）I・猪苗代湖（南岸）J）

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
J-1	○	○	○	○	○	○

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
J-1 (表層)	37.4203°	140.1008°	H29.8.24	09:42	10:10	24.2	24.0	砂礫	7.5Y 5/2	貝	3.4	>3.4		
J-1 (下層)						24.0								

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
J-1 (表層)	37.4203°	140.1008°	H29.8.24	09:42	6.7	<0.5	2.2	8.2	10.7	0.06	0.9	<1	0.8	N.D. (0.0012)	0.0091	—
J-1 (下層)					6.7	<0.5	2.2	8.2	10.6	0.06	0.8	1	0.8	N.D. (0.0012)	0.0072	0.0011

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
J-1	37.4203°	140.1008°	H29.8.24	10:10	7.1	285	27.2	1.7	2.4	2.796	0.5	0.7	51.2	44.6	1.0	2.0	0.26	9.5	8.2	72	N.D. (0.15)

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	37.5047° 37.4995°	140.1143° 140.1409°	H29.8.24	粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.25	—	—	—	3.54	0.34	3.2	—
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	37.4203°	140.1008°	H29.8.24	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.016	—	—	—	N.D.	N.D. (2.2)	N.D. (1.8)	—
					藻類・植物	双子葉植物	スイレン	スイレン	<i>Nuphar japonicum</i>	コウホネ	—	0.32	—	—	—	1.2	N.D. (0.28)	1.2	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Ephthalma elegans</i>	オオヤマトンボ	25	0.022	幼虫 (ヤゴ)	—	—	21	N.D. (2.4)	21	—
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ									
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	183	0.072	未成体/成体	—	—	6.1	N.D. (0.75)	6.1	—
					軟体動物	腹足	原始紐舌	タニシ	<i>Bellamyia chinensis laeta</i>	マルタニシ	26	0.075	成体	—	軟体部	7.1	1.1	6.0	—
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワナ	19	0.010	成体	—	軟体部	N.D.	N.D. (4.1)	N.D. (3.4)	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	1	0.0062	成魚	—	—	N.D.	N.D. (6.6)	N.D. (5.1)	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	2	0.14	成魚	—	—	8.3	1.4	6.9	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	タモロコ	1	0.0085	成魚	—	—	N.D.	N.D. (4.6)	N.D. (4.4)	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	182	1.3	未成魚/成魚	—	—	0.82	N.D. (0.29)	0.82	0.25
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	7	0.21	未成魚	ケモ類、ミス類、カラムシ類	内臓除去	1.5	N.D. (0.43)	1.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	20	0.73	未成魚	ヨコエビ類、コカゲムシ類、ミス類、ユスリカ科、ケムシ類、ハエ類、ワシムシ目、バッタ科、カマシ目、アリ類ほか	内臓除去	1.1	N.D. (0.36)	1.1	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー	2	0.011	未成魚	—	—	8.0	N.D. (3.3)	8.0	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	9	0.14	未成魚/成魚	—	—	2.3	N.D. (0.56)	2.3	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius kurodai</i>	トウヨシノボリ	7	0.019	成魚	—	—	N.D.	N.D. (2.9)	N.D. (2.4)	—
					脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	110	0.081	幼生 (オタマシヤガシ)	—	—	19.4	2.4	17	—
脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana rugosa</i>	ツチガエル	16	0.14	成体	—	—	21.4	2.4	19	—					
脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana porosa porosa</i>	トウキョウダルマガエル														
脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	5	0.029	成体	—	—	N.D.	N.D. (2.6)	N.D. (2.2)	—					

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名で下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。